様式第１０（第９条の２関係）

（注）行政書士でない方が、業として他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類を作成することは、法律に別段の定めがある場合を除き、行政書士法違反となりますので、ご注意ください。

汚濁負荷量測定手法届出書

工場長等の代表権を有しない者が届出者となる場合、代表者の委任状が必要。

令和 ○○年○○月○○日

提出年月日を記入する。

名古屋市長　様

住　　所　名古屋市中区三の丸３丁目１－１

届出者　氏名又は名称　マルハチ化学工業株式会社

法人にあっては代表者氏名　代表取締役　名古屋太郎

水質汚濁防止法第１４条第３項の規定により、汚濁負荷量の測定手法について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	マルハチ化学工業株式会社 第一工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	名古屋市中区三の丸３丁目 １－１	※受理年月日	年　　月　　日
△汚濁負荷量の測定手法	別紙のとおり。 所定の用紙に記入する。	※備考	

備考　１　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

２　※印の欄には、記載しないこと。

３　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙

汚濁負荷量の測定手法

昭和５４年環境省告示第２０号別記１の(1)～(4)の計測法のうち該当するものを番号で記入する。

昭和５４年環境省告示第２０号別記２の(1)～(3)の計測法のうち該当するものを番号で記入する。

指定項目の別	*COD*

1	特定排出水の区分	計測方法			計測場所
		汚染状態	特定排出水の量	その他の汚濁負荷量の測定に必要な事項	
	A	*1（1）*	*2（1）*	*別添1－1*	別図のとおり
	B	*1（3）*	*2（3）*	*別添1－2*	

別添として所定の用紙に記入する。

測定場所ごとに記入する。

工場全体の配置図等を添付し、計測場所を明示する。

2	特定排出水の区分	特定排出水の１日当たりの汚濁負荷量の算定方法
	A	*負荷量演算器　C・Q×１０$^{-3}$＝L*
	B	*手計算　C・Q×１０$^{-3}$＝L*
3	参考事項	

備考　汚濁負荷量の測定手法の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。

別紙

汚濁負荷量の測定手法

平成 13 年環境省告示第 77 号別記１の(1)～(4)の計測法のうち該当するものを番号で記入する。

平成 13 年環境省告示第 77 号別記２の(1)～(3)の計測法のうち該当するものを番号で記入する。

指定項目の別	窒素含有量

1	特定排出水の区分	計測方法			計測場所
		汚染状態	特定排出水の量	その他の汚濁負荷量の測定に必要な事項	
	A	1（1）	2（1）	別添２－１	別図のとおり
	B	1（3）	2（3）	別添２－２	

別添として所定の用紙に記入する。

測定場所ごとに記入する。

工場全体の配置図等を添付し、計測場所を明示する。

2	特定排出水の区分	特定排出水の１日当たりの汚濁負荷量の算定方法
	A	負荷量演算器　$C \cdot Q \times 10^{-3} = L$
	B	手計算　$C \cdot Q \times 10^{-3} = L$

3	参考事項

備考　汚濁負荷量の測定手法の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。

別紙

汚濁負荷量の測定手法

平成13年環境省告示第78号別記1の(1)～(4)の計測法のうち該当するものを番号で記入する。

平成13年環境省告示第78号別記2の(1)～(3)の計測法のうち該当するものを番号で記入する。

指定項目の別	*りん含有量*

1	特定排出水の区分	計測方法			計測場所
		汚染状態	特定排出水の量	その他の汚濁負荷量の測定に必要な事項	
	A	*1（1）*	*2（1）*	*別添3－1*	別図のとおり
	B	*1（3）*	*2（3）*	*別添3－2*	

測定場所ごとに記入する。

別添として所定の用紙に記入する。

工場全体の配置図等を添付し、計測場所を明示する。

2	特定排出水の区分	特定排出水の1日当たりの汚濁負荷量の算定方法
	A	*負荷量演算器　C・Q×10^{-3}＝L*
	B	*手計算　C・Q×10^{-3}＝L*

3	参考事項

備考　汚濁負荷量の測定手法の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。

別添１－１

その他の汚濁負荷量の測定の必要な事項

別紙の測定場所に対応した区分を記入する。

測定の対象に○をつける。

指定項目の別	COD

特定排出水の区分	A	・特定排出水	・特定排出水以外の排出水	・排　出　水

汚染状態の計測方法

水質自動計測器等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
○○㈱製　○○型 COD自動測定器	当社の特定排出水の計測に適合しているため。	毎　日		

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	換算式	換算式の根拠	備考
令和○○年○○月○○日 令和○○年○○月○○日	y＝○○x＋○○	試料数ｎ＝○○ 期間:令和○○年○○月○○日 ～○○月○○日 相関係数　ｒ＝○○ 変動係数 CVx=○○ CVx=○○. 標準偏差 σｘ=○○. σｙ=○○	

量の計測方法

流量計等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
パーシャルフリューム式流量計 (JIS K0094の8.3)	開渠、落差が小さい。	毎　日		

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	※　換算式（注３）	※　換算式の根拠	備考
年　月　日 令和○○年○○月○○日			

注　1　特定排出水の区分ごとに記入すること。
　　2　形状図、仕様書（又はカタログ）等を添付すること。
　　3　換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。

※　用水の量を計測することにより、特定排出水の量又は特定排出水以外の排出水の量を計測する場合のみ記入。

排水変動のパターン等を記入する。

別添１－２

その他の汚濁負荷量の測定の必要な事項

別紙の測定場所に対応した区分を記入する。

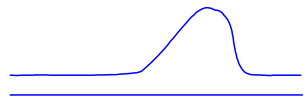
日平均排水量が 400m³/日以上の事業場で昭和 54 年環境省告示第 20 号別記１(1)以外の計測法により計測する場合、同告示別記１(1) の計測法によることが技術的に適当でない等の根拠を記入する。

指定項目の別	COD

特定排出水の区分	B	・特定排出水　・特定排出水以外の排出水　・排　出　水

汚染状態の計測方法					
水質自動計測器等の種類（注２）	選定の根拠		計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
指定計測法（ＪＩＳ法）	測定の対象に○をつける。		１回／９０日	県告示 別表(その１)－３ 別表－３	小規模な生活排水のため（排水量２０m³／日）
工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	換算式	換算式の根拠			備考
令和○○年○○月○○日 令和○○年○○月○○日		試料数ｎ＝ 期間: 相関係数　ｒ＝ 変動係数CVx= CVx= 標準偏差σ x＝ σ y ＝			

昭和 54 年環境省告示第 20 号のただし書きの要件を適用する場合、昭和 54 年県告示第 623 号の別表中該当する番号を記入する。

量の計測方法					
流量計等の種類（注２）	選定の根拠		計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
せ　き（JIS K0094の８）			１回／９０日	県告示 別表(その２)－３	小規模な生活排水のため（排水量２０m³／日）
工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	※　換算式（注３）	※　換算式の根拠			備考
年　月　日 令和○○年○○月○○日					

日平均排水量が、400 m³/日以上の事業場で昭和 54 年環境庁告示第 20 号別記２（3）の計測法により計測する場合、同告示別記２（1）又は２（2）の計測法によることが技術的に適当でない等の根拠を記入する。

注　1　特定排出水の区分ごとに記入すること。
　　2　形状図、仕様書（又はカタログ）等を添付すること。
　　3　性能基準及び換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。

※　用水の量を計測することにより、特定排出水の量又は特定排出水以外の排出水の量を計測する場合のみ記入。

排水変動のパターン等を記入する。

別添２－１

その他の汚濁負荷量の測定の必要な事項

別紙の測定場所に対応した区分を記入する。

測定の対象に○をつける。

指定項目の別	窒素含有量

特定排出水の区分	A	・特定排出水	・特定排出水以外の排出水	・排　出　水

汚染状態の計測方法

水質自動計測器等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
○○㈱製　○○型 （アルカリ性ペルオキソ二硫酸カリウム分解―外線吸光光度法）	当社の特定排出水の計測に適合しているため。	毎　日		

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	自動計測器の性能基準（注３） ゼロ校正液	標準試料溶液	実試料	備考
令和○○年○○月○○日 令和○○年○○月○○日	・計測回数：　５　回 ・各計測値とその平均値との差の、最大目盛値に対する比率： －５　～　５　％	・計測回数：　５　回 ・計測値の平均値と標準試料溶液濃度との差の標準試料溶液濃度に対する比率［又は濃度差］： １０　％ ［　　mgN/L］	・計測回数：　１０　回 ・計測値の平均値と指定計測法による測定値の平均値との誤差率（注４）［又は濃度差］： １０　％ ［　　mgN/L］	

量の計測方法

流量計等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
パーシャルフリューム式流量計	開渠、落差が小さい。	毎　日		

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	※　換算式（注３）	※　換算式の根拠	備考
年　月　日 令和○○年○○月○○日			

注　1　特定排出水の区分ごとに記入すること。
2　形状図、仕様書（又はカタログ）等を添付すること。
3　性能基準及び換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。
4　誤差率は、次式により求めること。

$$誤差率(\%) = \frac{[自動計測器の計測値の平均値] - [指定計測法の測定値の平均値]}{[指定計測法の測定値の平均値]} \times 100$$

※　用水の量を計測することにより、特定排出水の量又は特定排出水以外の排出水の量を計測する場合のみ記入。

排水変動のパターン等を記入する。

別添２－２

その他の汚濁負荷量の測定の必要な事項

別紙の測定場所に対応した区分を記入する。

日平均排水量が 400m³/日以上の事業場で平成 13 年環境省告示第 77 号別記１(1)以外の計測法により計測する場合、同告示別記１(1) の計測法によることが技術的に適当でない等の根拠を記入する。

指定項目の別	窒素含有量

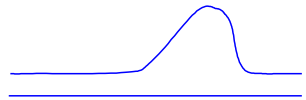
特定排出水の区分	B	・特定排出水　・特定排出水以外の排出水　・排　出　水

	水質自動計測器等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
汚染状態の計測方法	*指定計測法（ＪＩＳ法）*	測定の対象に○をつける。	*１回／９０日*	*県告示 別表(その１)－３ 別表－３*	*小規模な生活排水のため（排水量２０m³／日）*

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	自動計測器の性能基準（注３）			備考
	ゼロ校正液	標準試料溶液	実試料	
年　月　日 *令和○○年○○月○○日*	・計測回数：　回 ・各計測値とその平均値との差の、最大目盛値に対する比率： ～　%	・計測回数：　回 ・計測値の平均値と標準試料溶液濃度との差の標準試料溶液濃度に対する比率［又は濃度差］： % ［　mgN/L］	・計測回数：　回 ・計測値の平均値と指定計　測法による測定値の平均　値との誤差率（注４）［又　は濃度差］： % ［　mgN/L］	

平成 13 年環境省告示第 77 号のただし書きの要件を適用する場合、平成 14 年県告示第 546 号の別表中該当する番号を記入する。

	流量計等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
量の計測方法	*せ　き（JIS K0094の８）*		*１回／９０日*	*県告示 別表(その２)－３*	*小規模な生活排水のため（排水量２０m³／日）*

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	※　換算式（注３）	※　換算式の根拠	備考
年　月　日 *令和○○年○○月○○日*			

注　１　特定排出水の区分ごとに記入すること。
　　２　形状図、仕様書（又はカタログ）等を添付すること。
　　３　性能基準及び換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。
　　４　誤差率は、次式により求めること。

$$誤差率(\%) = \frac{[自動計測器の計測値の平均値] - [指定計測法の測定値の平均値]}{[指定計測法の測定値の平均値]} \times 100$$

※　用水の量を計測することにより、特定排出水の量又は特定排出水以外の排出水の量を計測する場合のみ記入。

排水変動のパターン等を記入する。

別添３－１

その他の汚濁負荷量の測定の必要な事項

別紙の測定場所に対応した区分を記入する。

測定の対象に○をつける。

指定項目の別	りん含有量

特定排出水の区分	A	・特定排出水	・特定排出水以外の排出水	・排　出　水

汚染状態の計測方法

水質自動計測器等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
○○㈱製　○○型 （ペルオキソ二硫酸カリウム分解―リブデン青吸光光度法）	当社の特定排出水の計測に適合しているため。	毎　日		

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	自動計測器の性能基準（注３） ゼロ校正液	標準試料溶液	実試料	備考
令和○○年○○月○○日 令和○○年○○月○○日	・計測回数：　5　回 ・各計測値とその平均値との差の、最大目盛値に対する比率： －5　～　5　％	・計測回数：　5　回 ・計測値の平均値と標準試料溶液濃度との差の標準試料溶液濃度に対する比率［又は濃度差］： 10　％ ［　mgP/L］	・計測回数：10　回 ・計測値の平均値と指定計測法による測定値の平均値との誤差率（注４）［又は濃度差］： 10　％ ［　mgP/L］	

量の計測方法

流量計等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
パーシャルフリューム式流量計	開渠、落差が小さい。	毎　日		

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	※　換算式（注３）	※　換算式の根拠	備考
年　月　日 令和○○年○○月○○日			

注　1　特定排出水の区分ごとに記入すること。
2　形状図、仕様書（又はカタログ）等を添付すること。
3　性能基準及び換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。
4　誤差率は、次式により求めること。

$$誤差率(\%) = \frac{[自動計測器の計測値の平均値]-[指定計測法の測定値の平均値]}{[指定計測法の測定値の平均値]} \times 100$$

※　用水の量を計測することにより、特定排出水の量又は特定排出水以外の排出水の量を計測する場合のみ記入。

排水変動のパターン等を記入する。

4　誤差率について

ゼロ校正液試験、標準試料溶液試験の誤差率についても、実資料試験と同様、「窒素・りん自動計測器による水質汚濁負荷量測定方法マニュアル（改訂版）」（環境省）の算定式により求めること。

別添３－２

その他の汚濁負荷量の測定の必要な事項

別紙の測定場所に対応した区分を記入する。

日平均排水量が 400m³/日以上の事業場で平成 13 年環境省告示第 78 号別記１(1)以外の計測法により計測する場合、同告示別記１(1)の計測法によることが技術的に適当でない等の根拠を記入する。

指定項目の別	りん含有量

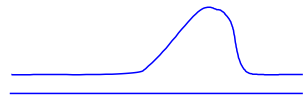
特定排出水の区分	B	・特定排出水　・特定排出水以外の排出水　・排　出　水

	水質自動計測器等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
汚染状態の計測方法	*指定計測法（ＪＩＳ法）*	測定の対象に○をつける。	*１回／９０日*	*県告示 別表(その１)－３ 別表－３*	*小規模な生活排水のため（排水量２０m³／日）*

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	自動計測器の性能基準（注３）			備考
	ゼロ校正液	標準試料溶液	実試料	
年　月　日 *令和○○年○○月○○日*	・計測回数：　回 ・各計測値とその平均値との差の、最大目盛値に対する比率： ～　%	・計測回数：　回 ・計測値の平均値と標準試料溶液濃度との差の標準試料溶液濃度に対する比率［又は濃度差］： % ［　mgP/L］	・計測回数：　回 ・計測値の平均値と指定計測法による測定値の平均値と　の誤差率（注４）［又は濃　度差］： % ［　mgP/L］	

平成 13 年環境省告示第 78 号のただし書きの要件を適用する場合、平成 14 年県告示第 547 号の別表中該当する番号を記入する。

	流量計等の種類（注２）	選定の根拠	計測回数	知事の定める適用要件	困難であるとする根拠
量の計測方法	*せ　き（JIS K0094の８）*		*１回／９０日*	*県告示 別表(その２)－３*	*小規模な生活排水のため（排水量２０m³／日）*

工事着手予定年月日 計測開始予定年月日	※　換算式（注３）	※　換算式の根拠	備考
年　月　日 *令和○○年○○月○○日*			

排水変動のパターン等を記入する。

注　1　特定排出水の区分ごとに記入すること。
　　2　形状図、仕様書（又はカタログ）等を添付すること。
　　3　性能基準及び換算式の算定の基礎となったグラフ、データ等を添付すること。
　　4　誤差率は、次式により求めること。

$$誤差率(\%) = \frac{[自動計測器の計測値の平均値]-[指定計測法の測定値の平均値]}{[指定計測法の測定値の平均値]} \times 100$$

※　用水の量を計測することにより、特定排出水の量又は特定排出水以外の排出水の量を計測する場合のみ記入。

別添

汚濁負荷量及び特定排出水等の量の補そく率

指定項目の別	COD

計測場所	特定排出水等のCOD濃度（mg／L）	特定排出水等の量（m³／日）	補そく率(%)	特定排出水等の汚濁負荷量（kg／日）	補そく率(%)	備考
A	15	500	962	750	926	COD計 パーシャルフリューム式流量計
B	30	20	38	060	74	指定計測法 せき式
合計		520	100.0	81	100.0	

別添

汚濁負荷量及び特定排出水等の量の補そく率

指定項目の別	窒素含有量

計測場所	特定排出水等の窒素含有量（mg／L）	特定排出水等の量（m³／日）	補そく率(%)	特定排出水等の汚濁負荷量（kg／日）	補そく率(%)	備考
A	15	500	962	750	926	全窒素自動測定器 パーシャルフリューム式流量計
B	30	20	38	060	74	指定計測法 せき式
合計		520	100.0	81	100.0	

別添

汚濁負荷量及び特定排出水等の量の補そく率

指定項目の別	りん含有量

計測場所	特定排出水等のりん含有量（mg／L）	特定排出水等の量（m³／日）	補そく率(%)	特定排出水等の汚濁負荷量（kg／日）	補そく率(%)	備考
A	2	500	962	100	943	全りん自動測定器 パーシャルフリューム式流量計
B	3	20	38	006	57	指定計測法 せき式
合計		520	100.0	106	100.0	